

中核市サミット松山宣言

これまで中核市は、制度発足以来、地方分権の進展を目指し、その先導者として大きな役割を果たすとともに、自らの行政改革にも積極果敢に取り組んでまいりました。

現在、国においては、歴史的な政権交代を機に、国と地方の役割分担や国の関与のあり方について、抜本的な見直しが行われようとしており、地方分権は、新たなステージへ進みつつあります。

一方、地方では、世界同時不況による景気の低迷、少子化による労働力人口の減少、地球温暖化による異常気象などの厳しい状況の下、複雑・多様化する住民ニーズに対応しつつも将来に亘って持続可能な行政運営を目標に更なる改革を進めています。

こうした中、中核市は市民に最も身近な基礎自治体として、また、地域の拠点都市として、中核市特有の課題にも積極的に取り組み、市民満足度の向上を目指したクオリティの高い行政サービスを展開することにより活力に満ちた地域社会づくりに邁進しております。

私たちは、将来世代が夢や希望を共感し、安全・安心で快適に暮らせる社会を構築するため結束し、地方分権の流れを更に大きなうねりとし、地域主権の確立を目指し全力で取り組むことを全国にアピールするため次のとおり宣言します。

- 1 中核市は、今後も行財政改革を推進することで健全な財政運営に努めるとともに、国と地方の役割の見直しを通じて市民に最も身近な自治体として地域主権の確立を目指します。
- 2 中核市は、地域住民の主体的で自立したまちづくりを推進するため、住民を対等なパートナーとし、協働のまちづくりを推進していきます。
- 3 中核市は、市民・事業者・行政の協働の下、地域の特性を活かした温暖化対策に積極的に取り組み、誰もが安心と豊かさを実感できる低炭素社会の実現を目指します。
- 4 中核市は、スポーツを「する」「みる」「支える」すべての人たちを応援し、スポーツの振興を通じ、「ひと」と「ひと」をつなぎ、「まち」の元気と活力を創出します。

平成21年11月5日
中核市市長一同